

## 編集後記

「横幹」第2巻第1号をお届けします。本号の特徴はミニ特集「マネジメント」を企画し、3編の解説論文を掲載したことである。この狙いは「コトづくり」を「マネジメント」の視点から既存のディシプリンを横断し、俯瞰することにある。

近年、社会とりわけ企業におけるマネジメントのイノベーション（革新）はめざましい。時代環境の変化への適合とメガコンペティションと呼ばれるグローバルベースでの競争において生き抜くために企業はさまざまな課題を抱え、それらを解決するために絶え間ないマネジメント・イノベーションが求められているが、そこでは従来の技術だけでは容易に解決できない課題が複雑化し、増加している。このような企業の要請に応えるために、横断型基幹科学技術が果たす役割はどのようなものだろうか。

マネジメント（経営、管理）はPlan-Do-Check-Actのサイクルで定義されるが、企業経営の研究開発、マーケティング、プロジェクト管理などのバリューチェーンにおいて既存の技術と制御工学、経営工学、情報技術、モデルリングなど横断型技術のみならず、社会科学などとの知の融合が、新たな課題解決にとって必要とされていることを本号の論文が示唆している。

このように社会が抱える複雑な課題の解決のために横幹技術の役割はますます高まるであろう。また、課題の発見・解決というミッションを実現するために新たな横断型科学技術が構築される可能性も大きい。

一方、本号でも第1巻と同様に論説に加え、原著論文を採録できた。今後、会員から「横幹」に課題解決のための原著論文の投稿が増え、新たな知の融合、コトづくりのための横断型科学技術が発展することを期待したい。

会誌編集委員会 長田 洋（東京工業大学）

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### 2007年度役員

会 長	吉川弘之（（独）産業技術総合研究所）	江尻正員（産業コンサルタント）
副会長	木村英紀（（独）理化学研究所）	佐野 昭（慶應義塾大学）
理 事	長田 洋（東京工業大学）	清水義雄（信州大学）
	榎木哲夫（京都大学）	出口光一郎（東北大学）
	鈴木久敏（筑波大学）	能勢豊一（大阪工業大学）
	西村千秋（東邦大学）	松永 是（東京農工大学）
	藤井真理子（東京大学）	遠藤 薫（学習院大学）
	矢川元基（東洋大学）	帯川利之（東京大学）
	大熊和彦（東京工業大学）	椿 広計（筑波大学）
	神田雄一（東洋大学）	廣田 薫（東京工業大学）
	原 辰次（東京大学）	山崎 憲（日本大学）
	古田一雄（東京大学）	木村忠正（電気通信大学）
監 事	木下源一郎（中央大学）	

#### 2007年度 会誌編集委員会

委員長	原 辰次（東京大学）	
委 員	廣田 薫（東京工業大学）	長田 洋（東京工業大学）